

尼崎市立歴史博物館第3回企画展



※発掘された東三の丸の石垣

尼崎城を掘る

令和3年(2021)

7月10日(土) ~ 9月5日(日)

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜(ただし、8月9日(月・祝)は開館し、10日(火)が休館)

会場: 歴史博物館 3階 企画展示室

入館料: 無料



※尼崎城跡出土遺物(左から)「御台所」上絵付磁器皿・土人形・鯨瓦

同時開催

尼いも復活物語



尼崎市立歴史博物館

AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY

〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2

電話: 06-6489-9801 (歴史博物館文化財担当)

電車・バス…阪神尼崎駅から南東へ徒歩10分

自動車……産業道路開明橋から東へ500m

隣接する市立城内駐車場(有料)をご利用ください。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/

当館では新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。

ご観覧の皆様のご協力をお願いいたします。

また、感染の拡大状況によって、臨時休館や入場制限等を行う場合があります。



尼崎城を掘る

3階 企画展示室

元和3年(1617)尼崎藩主となった戸田氏鉄が幕府の命を受け、翌年から新たに築城した尼崎城は、江戸時代尼崎藩政を司る重要拠点として、また大坂城の西の守りとしてその役割を果たしてきました。しかし、明治6年(1873)廃城が決まり、その後、尼崎城の跡地は尼崎のまちの中心市街地へと姿を変えていきます。昭和62年(1987)に初めて尼崎城跡で発掘調査が行われ、尼崎城の遺構が確認されました。その後の調査で、堀や石垣、本丸御殿、武家屋敷などが調査され、より正確な城の位置が明らかになり、石垣の積み方、本丸御殿基礎工事の土木技術等、歴史資料では記録されていない新たな発見もありました。今回の企画展では、これまでの発掘調査成果をもとに、出土資料、写真パネル、絵図資料などで地下に残る尼崎城を紹介します。



尼崎城跡出土遺物(左から)風炉、焼塩釜、磁器皿



発掘された本丸御殿(西から)

関連事業

○展示解説：7月18日(日)

8月1日(日)・8月29日(日)

(各日)午後1時～午後2時

※事前申込不要、直接会場へ

○水曜歴史講座：「尼崎城を掘る」

会場：歴史博物館 3階 講座室

日時：7月14日(水)

午後2時～午後4時(受付開始は、午後1時30分)

申込：7月5日(月)より受付開始(電話またはFAXで歴史博物館)

○夏休み子ども歴史教室

(1)「尼崎城の瓦で拓本にチャレンジ！」

7月28日(水)①午後1時30分～午後2時50分

②午後3時～午後4時30分 定員：各10人

(2)「尼崎城をつくろう」(ペーパークラフト製作)

8月4日(水) 午後2時～午後4時 定員：15人

(3)「ハンカチを藍染しよう」

8月18日(水)①午後1時30分～午後2時50分

②午後3時～午後4時30分 定員：各10人

(材料費)220円

(1)～(3)いずれも

対象：小学校4～6年生 会場：歴史博物館 3階 講座室

申込：7月6日(火)より受付(電話またはFAXで歴史博物館へ)

同時開催 尼いも復活物語

3階 展示学習室

「尼いも」は、江戸時代後期頃から尼崎南部で栽培されていた尼崎特産のさつまいもで、夏に出荷されるさつまいもとして珍重されました。昭和20年代に絶滅しましたが、平成13年(2001)に「尼いもクラブ」が結成され、尼いも復活の取り組みが始まり、現在では、市内の農家や小中学生などで復活した尼いもが栽培されています。尼いもの歴史や復活までのあゆみを紹介します。

